



植物にかぶれた

こんなときは **病院** へ



★2～3日しても、症状が軽くない
湿しんがひどくて、はれがなかなかひかないような
ときは、皮膚科へ。

こんな植物に要注意
～かぶれやすい植物～

- ヤマウルシ
- ツタウルシ
- ハゼノキ
- ヌルデ

一度、図鑑などで確認して
おきましょう。

★水ほうができ、ただれてきた

引っかいたり、水ほうをつぶしたりしない
よう、清潔なガーゼを当てて皮膚科へ。

かぶれたときの応急手当て

①服を着替える

かぶれの原因となる植物
が服に付いていることが
あるので、すべて着替える。



②流水で洗う

すぐに患部を流水で洗う。
このとき、洗っている水が
ほかの部位にかからない
ように気をつける。



③かゆみ止めを塗る

患部に虫刺され用の抗ヒ
スタミン軟こうを塗る。
できるだけこすらないよ
うにし、水ほうができ
いたら、つぶさないよ
うにする。



④冷やす

かゆみがひどいときは、
冷水で湿らせたタオル
を患部に当てて冷やす。

